



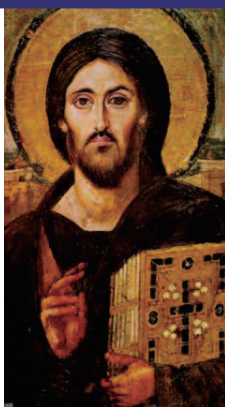
広報 なかわだ

第 383号

11 月の予定

教会委員会	11 月 12 日 (土)
七五三祝福ミサ	11 月 13 日 (日)
初聖体祝福ミサ	10 月 23 日 (日)

※「信徒の会」の 11 月度例会は、初聖体祝賀会に出席することに代えることとして、例会はお休みとします



20 11 年 11 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

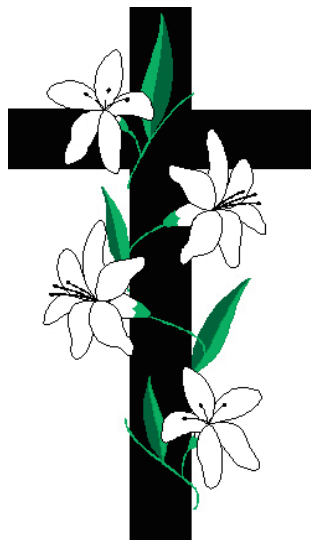
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 23 年 11 月 6 日

Christ the Saviour (An Anonymous Painting VI c)

死者のために祈る

主任司祭 小林 陽一



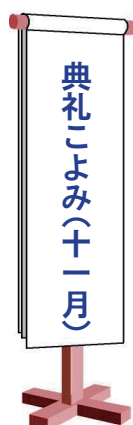
11 月 2 日 (水) は、死者の日と呼ばれ、諸死者の記念日とも呼ばれております。横浜教区は「祈る力を育てる共同体」づくりが行われるよう呼びかけております。生ける人々の為に祈ることと合わせて、亡くなった信者さん、亡くなった家族、恩人、知人、友人、親しくしていた方のために祈ることは、自分を育ててくれた方々への感謝を表すことであり、大切な交わりです。

帰天した信者の霊魂はどこへ向かうのでしょうか。普通、死者の霊魂は、清めを経たうえで、天の至福に入る(註1. 参照)と教会では教えております。これは、キリストを信じていた方が帰天した場合、一般的に言える場合について示しております。その理由は、死者の霊魂は、小罪が残っていたり、罪の償いがまだ終了していなかった場合、天国の至福に入る前に、その霊魂は煉獄で清められなければならないからです。煉獄にあって天国に入るのを待っている故人が、その霊魂の清めが早く終わるよう願って、ミサを捧げてもらうこと、故人のためにロザリオや十字架の道行きの祈りを唱えることは、立派な愛徳のささげものとなり、煉獄の霊魂の救いのために大切なことです。



帰天された方々のために祈りましょう。

註1. カトリック中央協議会発行「カトリック教会のカテキズム」307頁-1022番を参照ください。



日	曜		ミサ・勉強会	備考
2	水	死者の日		
4	金		初金ミサ(10時)	掃除
5	土		主日ミサ(18時)	
6	日	年間第32主日	主日ミサ(9時)	死者のためのミサ(共同祈願)
12	土		主日ミサ(18時)	教会委員会(9:00)、掃除
13	日	年間第33主日	主日ミサ(9時) 七五三祝福	
19	土			掃除
20	日	王であるキリスト	主日ミサ(9時) 初聖体祝福	ミサ後祝賀会
26	土			
27	日	待降節第1主日	主日ミサ(9時)	大掃除

10/30 バザー開催！ ご参加とご奉仕をありがとうございました



10月30日に、恒例の中和田バザーが開催されました。

近隣にお住まいの方々や近隣教会、修道会の方々はじめ大勢の方々にご来訪頂き、そして好天のお恵みも頂き、和やかで、賑やかで、楽しい交流のひと時を過ごすことが出来ました。

このような素晴らしい、交わりの機会が与えられたことを私たちは心より感謝します。

ご来訪頂いた皆様、そして長い時間をかけて、入念な事前準備とご奉仕をしてくださった皆様、どうも有難うございました。



「信徒の会」：10月度例会から（10月16日）

10月例会は16日（第3日曜日）に開催されました。ミサ後帰宅を急がれる方、教会の様々な奉仕活動に携わっておられる方なども多く、当方が期待するような“座席が足りなくて困る”という状況にはなかなかありませんが、毎回、出席された方々で有意義な時を共に過ごせますことは感謝です。

ここしばらく「介護」をキーワードに話し合いをもってきましたが、今回からしばらくは、小林神父様の10月号巻頭言にヒントを得、さらに最近第5地区共同宣教司牧委員会を中心に進められている「祈る力を育てる」「伝える力を育てる」「証しする力を育てる」というキリストの教会であり続けるための三つの要素をキーワードに話し合いをしていくことになりました。

今回は早速、岩淵教会委員長にお願いして、第五地区共同宣教司牧委員会で取り上げられていることをお話し頂く機会を得ました。ご丁寧なレジュメを作って下さり、すべての信者がそれぞれに与えられた使命をよりよく果たすための体制として、諸教会との交わり、信者（司祭、修道者、信徒）の交わりが大切になってきていることを分かり易く説明して下さいました。

集まったみなさんからは、

- ・まず、（顔見知り同士だけではなく、）互いに挨拶し合い、声かけをしましょう
- ・外部の方たちや若い方たちが入りやすい行事やイベントがあるといいですね
- ・今度のバザーのケーキ作りに信者でない方も参加して下さいという話がありますよ

といったお話が出ました。

11月の例会は、第3日曜日がちょうど初聖体のお祝いの日ですので、例会をこのお祝い会に出席することに代えて、お休みとさせていただきます。次回の例会には多くの皆様のご参加をお待ちしています。（小野雅彦、岩崎好愛）



教会委員会から「信徒の会」に運営主体を移した“サロン”が、いよいよ10月からスタートしました。毎月1回（原則第4日曜日）で、セルフサービスを基本とします。「みんなのサロン」です。皆様のご参画・ご奉仕・ご協力を宜しくお願いします。

なかわだの 声



数週間前に、中和田の主日ミサに初めて与られた、近隣教会所属の女性信徒お二人に感想を伺いましたら、異口同音に以下のようなお話しを下さいました。

「強く印象に残った素晴らしいことは、…」

若いお母様が、小さな子どもさんを抱っこしながら、聖書朗読をなさっているのを見たときです。

そのお姿が素敵で、自然に家庭的な雰囲気を醸し出して、『ああ、こういうことも出来るんだ』と感じ入りました。長い信徒生活を通して、このような素敵な場面を見たのは初めてです。」

私たちにとっては、日常的なことでも、他教会の方々の目を通して見ると、素晴らしいことがあるようです。

これを伺って嬉しくなりましたので、皆さまにお伝えします。



中和田に來られた他教会の方々に、折に触れて率直な印象や感想を伺うと、いろいろ参考になることも多いのでは、と思います。(匿名信徒)

岩淵委員長の コラム



■ まずまずの好天の中、和気藹々とバザーが実施されました。準備は大変だったと思いますが、おかげさまでトラブルもなく、楽しい一時が過ごせました。詳細は別途報告されるとはいますが、売り上げも予想以上にありました。準備に当たられた方々、御協力下さった方々に心からお礼申し上げます。反省事項や今後どうしていくべきか等、皆でよく議論して次年度以降に活かしていきましょう。バザーは終わりましたが、これから年末に向け色々な行事が続きます。引き続き御協力宜しくお願い致します。

■ 戸塚、原宿、中和田の三教会は第五地区の中で一つのブロックとなっています。ブロック内連携が言われて久しいのですが、地味ではありますが徐々に具体的になってきていると思います。福祉関係での協力、イベントでの相互交流、先日は戸塚教会から初聖体用の子どもドレスをお借りしました。更に今後各種会合への相互参加、ノウハウ・マニュアル類の相互公開等、有意義な関係を作って行ければと思います。

■ 聖体授与の臨時の奉仕者として5名の方が司教様から任命されました。また鍛冶ヶ谷教会で第五地区の集会祭儀セミナーが開催され、当教会からも6名の方々が出席されました。この経験も踏まえ、今後典礼委員会を中心に中和田教会としてどのように対応していくか議論を進めて頂きたいと思います。

■ これまで二年間、より良い教会にして行くためにどうしていけば良いのかずっと考えてきました。色々なことがありますが、一つ重要なことは、意思の疎通がしっかりしていること、課題や不満は必ずあるが、問題意識を皆で共有して皆の知恵で解決していくという雰囲気作りこそ大事だと思います。そのためには自由に意見が言える仕組みとそれを受け止めて話し合う場が必要です。一つはご意見箱があります。また開かれた委員会にしたいので是非御参加をとおし上げてきました。メモを書いたり、委員会に参加するのは面倒だということであれば、まずは御要望や御意見をお気軽に私を始め、委員の皆さんに口頭で結構ですので、お伝え頂ければ幸いです。また課題事項を信徒の会で話し合っていくことも大事なことでと思います。

■ これから委員会関連の委員の改選期に入ります。しつこく申し上げて恐縮ですが、委員が定期的に変わっていくことで、皆で教会を盛り上げていこうという雰囲気ができてきますし、お互いの立場がよく理解でき協力関係が進むものと思います。また一部の方に固定的に仕事を御願いしているような状況は決して好ましいことではありません。皆様、お忙しいことは重々承知しておりますが、委員の交代の依頼があった時は是非前向きに受け止めて頂きたく、宜しくお願い致します。

ホームページに「サイト内検索機能」を設置しました

中和田教会ホームページも2003年に開設以来、足かけ9年を経過して、コンテンツもだいぶ増えてまいりました。

そこで、過去のコンテンツの検索を簡単に行なえるように、トップページの下部に検索機能を設置しました。

例えば、イベント名や歴代の神父様のお名前など、所望のキーワードを入れて、検索ボタンをクリックすると、2003年以降の該当ホームページ記事が一覧の形で、纏まって画面に表示されます。

ご利用願えれば幸いです。

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic>

(広報グループ)



— サイト内検索機能は、ここに設置されています —

委員会だより

(文中敬省略)

△10月9日(日) 11名出席▽

■各グループからの報告

●典礼(下村、大宮)

・10月29日(バザー前日)のミサは15時から行なう

・11月2日「死者の日」のミサは無し。

・11月6日の主日ミサ／共同祈願に含める

★個人的追悼ミサについて

○司祭一人ではミサが立てられない(ただの祈願になる)

○追悼ミサを申し込む場合には、その日時に申込者が参列できることが条件になることに注意

○来週から表を張り出して募集する

★降誕祭前の共同回心式について

○12月4日に梅村司教が堅信ミサのため来訪されるので、その説教をもって回心式講話にあてる

○赦しの秘跡(共同告解)は12月11日と18日ミサ終了後に行なう

●財務(甲斐)

・一般会計:

△QV月定献金は、9月末で年間予算の61%に留まっているが、問題はないのか?

(岩淵委員長)

△AV例年、後半に偏る傾向にあるので、今暫く進捗を見ていきたい(甲斐)

・建設会計:とくに大きな動きはない
・愛の献金:大震災義援金に関する取り扱いは、別途議論(後述)

●宣教(石井、悠)

・バザー手伝いは第3週に相談(中学生)
・泉区民クリスマスのニュースレターが発行されているので見て欲しい。
各教会で、クリスマスをどうやって迎えているのか、などの紹介記事もある

↓ニュースレターなどに、中和田教会のことも積極的に書いて頂きたい(岩淵)

・12月25日降誕ミサと主日が重なるが? ↓ミサ開始は10時とする

●管轄/教会建物を考える会(福島)

・高齢者対応の一環として、教会玄関のスロープについて、検討していく
・先月教会委員会で承認された修理案件、まだ全部完了していない
・建物を考える会のメンバーを増やしたい

●福祉(中島)

・9月26日に、パッチワーク対応(マザーテレサの会)の布切りを行った
・震災支援のTシャツをバザーで販売する予定だったが、季節も変わってきており、受注分を取り寄せる方式にする

・ファルク(拒食症、過食症に対する取り組み活動)からの協力依頼に対応している。この活動は、資金のために石鹸をつくって販売したり、フォーラムを開催したりして活動を行なっている。

↓福祉グループの活動の幅が広がってきたことは素晴らしいこと(岩淵)

●行事(武田、幸)

・バザー準備が、皆さんの協力でき々と進んでいる

△小林神父より▽

○過去に、バザーの売り場に立ったら、びっくりされるような言い方をされて、辛い思いをされた方がいる

○バザーの売り場に立つ方は、必ず名札を着用して頂き、バザー開始に先立って、現場で紹介される手順を踏んで欲しい
○これは、フリーマーケットを担当される方々にも励行をお願いする

・バザーの抽選について、特定の人に偏る(?)という指摘を受ける場合が多い

↓バザー券を多く買った人が当選確率が高いのは致し方ないこと。くじを引く人を複数にするなど、誤解を受けられないように配慮していく。

●総務(小山、利) 一 名簿整理継続中

●広報(小野) 一 特記事項なし

●信徒の会(小野)

9月の例会は、敬老祝賀会の日時と重なったため、例会を、この祝賀会に参加して祝うことに代えた。(反省後述)

■小林神父の話

●小林神父が教区研修の為、10月17、21日に宣教クララ会の黙想の家に出張

●戸塚教会チャリティコンサート(11月12日)の案内あり。福祉委員主導で参加申込みなど手配願いたい

●従来、「聖体奉仕者」と呼んでいた役割を、今後「聖体授与の臨時の奉仕者」とするよう、司教指示あり(詳細は別資料)

●横浜天主堂献堂一五〇周年記念の件(詳細は教区報68号(2011年4月)参照)

■報告事項

●集会祭儀セミナーが10月29日に鍛冶ヶ谷教会にて開催される

●防災訓練(9月25日)の反省

・皆さんに真面目に取り組んで頂き感謝しかしながら、「持ち物を持って避難」と指示を出したことで、また子どもミサ用聖歌集の返却で混雑したこと、などで時間を費やしたことは反省材料。

・次回は、達成目標(避難所要時間など)を設定して、改善を期したい。

●敬老祝賀(9月18日)の反省

・ミサ後、塗油の為に敬老対象者だけが聖堂に残ったので、「信徒全員が祝う」雰囲気、損なわれてしまった。
・また、出席者が少なく、祝賀を受ける対象者が、祝賀をする方より多いという結果となってしまった。

《注》「信徒の会」のメンバーの多くは、敬老対象者の側。また、子どもたちは、要理学校/中高生会で出席出来る。

・やはり、祝賀の雰囲気を盛り上げるためには、子どもたちの参加が望ましい。
・新集会室は、祝賀会には手狭なのでは?

●ブロック内連携例の紹介

・初聖体の衣装の貸し借り(岩淵委員長)

・仙台司教区平賀司教からのメッセージよく読んで頂きたい(岩淵委員長)

■討議事項(既に議論済みの項目は除く)
●堅信式

受堅者は、高校生1名、中学生2名、小学生(56年生)6、8名となる見込み

●クリスマス準備関連

・信徒から要領書がいろいろあり、別途調整
・七五三のお祝い ↓11月13日のミサで降誕祭前の大掃除について

・12月4日に堅信式が予定されていることもあり、本年は11月27日に行なう

●台風15号被害の教区への報告

極めて軽微な損傷のみ ↓被害無し

●東日本大震災募金について

9月末まで第二次募金を募ってきたが、バザー収益分も合算して、仙台教区に送ることとする。(金額等11月教会委員会で確認)

●初聖体ミサおよび祝賀会について

11月20日に行なう。この為、第4週の「サロン」はこの日に繰り上げる

●教会委員会日程について
11月と12月は、それぞれ12日(土)と10日(土)の9時より行なう

●高齢化への対応(長期的課題)

《本件に関して出された意見》

・高齢化を嘆いていても何も始まらず、若い人へアピールしていく

・ブロック制への加速を契機として、何でも自分の小教区だけでやろうとせずに、ブロック内他教会と一緒に、相互にシェアしながらやっていくことも必要ではないか

・他教会の知恵を借りる努力も必要である
・何か用事があるときだけ、若い人に出てきてくれと言ったって無理。

・常日頃、(飲み会含めて)忌憚のない会話を深めていくこと、働きかけていくことが必要なのではないか。

以上



(次回は、11月12日(土) 9時)